

れいんぼー

第70号 2026年5月15日発行

特集

人生を彩る「押し」の力

心震える情熱が、明日への活力になる。



「疾風のキセキ」
デッサンから学ぶ油彩画科 渡邊エリ子

■ 理事長挨拶

新年度に寄せて

■ 新入生インタビュー

それぞれの春、それぞれのスタート

■ 講座案内

いまこそ、自由にアクティブに

■ 第9回コーダイ合同美術展

受賞作品紹介

■ 大阪城公園、美しい瞬間を探して

■ 読者の広場 コーダイFriendly Park



ご入学によせて

受講生のみなさまへ

新年度のごあいさつ



認定NPO法人大阪府高齢者大学校
理事長 古矢弘道

楽しく学び、仲間とつながるコーダイ

皆さん、ようこそコーダイへ

新しい年の始まりとともに、皆さんをコーダイにお迎えできたことを、関係者一同、心より嬉しく思っています。そして、数ある生涯学習校の中からコーダイをお選びいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

コーダイは受講生、CD、スタッフ、そして魅力ある講師陣を含め、約三千名を超える人々が集う生涯学習の場です。多くの仲間が集い、学び合い、支え合いながら、それぞれの人生をより豊かなものにしていく場でもあります。コーダイが、皆さんにとって「心地よい居場所」であり、「誇れるコーダイ」と感じていただける場でありたいという思いを胸に、私たちは、より良い学びの環境づくりに努めています。

ご承知のように、「学び」は自らの意思から始まります。「やってみたい」「知りたい」「もっと深めたい」という好奇心こそが、学びの原点です。

コーダイは「教育の場」ではなく、自ら主体的に取り組む「学びの場」であります。ここには、皆さんの笑顔と好奇心、そして新しい出会いがあります。自らの意思で学び、仲間とともに楽しむ。その積み重ねが、人生をより豊かなものにしてくれます。最近の受講生の応募動機を見てみると、「学びたい」という目的に加え、「仲間と交流したい」「楽しい時間を過ごしたい」という声が年々増えてきています。楽しい学びと素晴らしい仲間との交流は、私たち世代にとって欠かすことができない大切なものとなっています。

今、私たちは「人生百年時代」を生きています。だからこそ、いくつになっても楽しく学び続け、素晴らしい仲間と出会い、毎日をいきいきと過ごすことが大切です。コーダイは、そのような人生を支える学びの場であり続けたいと考えています。

今年のコーダイは、「意欲を高め

新たな挑戦・新たな出会いを楽しむ1年」をテーマに学校運営に取り組んでまいります。単調な日々ではなく、いくつになっても刺激のある毎日をご過ごすこと。それが心身の健康につながります。特に私たちの世代にとって、心の健康はより大切です。心が前向きであれば、人生はいつまでも輝き続けます。

この1年、コーダイでの学び、素晴らしい出会い、仲間との笑顔あふれる交流、そして新たな挑戦を存分に楽しんでください。そして、皆さんとともに「心地よい居場所」「誇れるコーダイ」を育んでいきたいと願っています。

それぞれの春、それぞれのスタート。

4月6日、大阪国際会議場で入学式が行われました。開場を待つ受講生が次々と集まり、ホールには新しい春を迎える高揚感が漂っていました。その場に集った皆さんに、今年のスタートへの思いを伺いました。



今年90歳を迎える受講生は病氣療養を経て久しぶりの復帰。姪に付き添われながらも、晴れやかな笑顔で会場に姿を見せました。「また戻ってこられて嬉しいんです」と語る姿に、学び続ける力強さを感じました。

在学生／
医療と健康を楽しく学ぶ科



初めてコーダイに来られたおふたりは、どこか緊張した面持ち。新しい学びへの期待をしっかりと感じられました。別のカレッジから今回コーダイを選ばれたのは受講したい科目が豊富にあることだったそうです。

その初々しさが、春のスタートらしい明るさを添えていました。

（男性）ローカル文化探検科
（女性）ボイストレーニング系クラス

和装で参加されている方も何人か見かけました。そのおひとりに入学式に着物で来られた理由を伺うと、「気持ち引き締まるから。吉所（縁起の良い場所）では着ることにしています」とのこと。その言葉から、学びに向かう真摯な姿勢が伝わり、こちらまで背筋が伸びる思いがしました。

在学生／
素敵な歳の重ね方を学ぶ科



昨年と同じクラスを継続して受講されるおふたり。ジェフ先生の講義が好きなのももちろん、遠足などクラス全体で楽しむ行事がとても印象深かったそうです。「今年も楽しみにしています」と声をそろえて話す姿が、何より印象的でした。



在学生／
英会話を楽しむ科

声だけ参加の新生入生さん
基礎英会話を受講します。孫が小学生になり、英語を習い始めたので、私も一緒に学べたらと思っています。コーダイは初めてですが、よい仲間と出会い、楽しく過ごせたらうれしいです。

新生入生／基礎英会話科

特集：人生を彩る「推し」の力

——心震える情熱が、明日への活力になる。

世代を超えて広がる「推し活」。本特集では、コーダイ（大阪府高齢者大学校）で学ぶ3人の情熱に迫ります。
伝統芸の落語、別世界へ誘うオペラ、そして半世紀以上共に歩む阪神タイガース。形は違えど、そこにあるのは純粹な情熱です。
三者三様の「推し活」から、人生をより愉しく、深く生きるヒントを探ります。

今回の特集にあたり、「熱狂的なファン」を探していた編集部の前に現れたのは、穏やかな笑みを浮かべる80歳の紳士でした。「最近は専らテレビ観戦やね」と語る彼。しかし、その記憶の扉を開けると、そこには現代の「推し活」という言葉では収まりきらない、重厚なドラマが詰まっていました。

（編集部）「今日は雨の中ありがとうございます。中島さんは、それこそ『推し活』なんて言葉ができるずっと前から阪神を応援されているそうですね。そもそも、阪神タイガースとの出会いはいつ頃だったのでしょうか？」

（中島佑三さん・以下 中島）「小学校の頃やね。当時は阪神電車に乗って、甲子園近くにあるプールに連れて行ってもうとうとう球場にも行ってね、阪神の選手たちを見に行くのが楽しみだったわ。

一緒になって体操したり、選手のほうから「おまえら、まじめに体操せい！」と声をかけられたりして、ホンマ、地元は阪神タイガース一色やった。

（編集部）長年ファンを続けていると、単に応援するだけでなく、ご自身の生活や仕事にまで阪神が関わってくるようなことはありましたか？」

中島「ふるさと阪神」っていうか、大阪に住んでるということはすなわち「阪神ファン」なんですよ。だから、居酒屋行っても「阪神ファン」というだけで知らない人同士が意気投合したり、「巨人ファン」と聞いたら「あっち行ってんか」みたいだね。負けるたびに、何回もファンをやめようって誓うんだけど、できない息子ほど可愛いというか、すぐ、忘れてしまうねん。



2025年度 ローカル文化探検科 中島佑三さん

仕事してた時も、得意先で阪神の試合のことで盛り上がって「あれ？なににきたんやったっけ？」って帰ってきたこともあった。（笑）

（編集部）好きな選手はどなたですか？
中島 吉田、村山、鎌田、三宅とかね。別当薫とかも。別当は近所に親戚の人が住んでて身近な感じがしたわ。伝説のバッターやつてんで。阪神って、みんな身内みたいな気がするねん。

（編集部）最近は阪神タイガースも強くなりましたが、中島さんにとって、あえて『阪神ファンの醍醐味』を挙げるとしたら何でしょうか？ やはり勝つことですか？」

「最近の阪神は面白くない。負け続けていた20年こそが阪神なんや。負けても野次つても、スコアードと打ってくれたら、その一発ですべて気が晴れるっていうのが最高やねん。それも、ギリギリで巨人に勝ってほしい。強い巨人に勝たないと意味がない。

昔、王と長嶋が出て来たら、「今日はあかん。」と思ったもんや。「勝てる試合に負けて。負けそうな試合は必ず負ける。」それが阪神タイガースや。それでも、20年間勝たなかったから、勝つまで死なれへん」と友達と話していたら、78歳で勝ってしまったわ。次は百歳まで勝てへんかな？ 長生きせなあかん(笑)

注釈

別当 薫(べつとう かおる) 戦後、阪神

の主砲として活躍。「和製ダイヤモンド」と称された。端正な顔立ちで、今の「推し」の走りとも言える圧倒的な人気スター。
村山 実(むらやまみのる) 全身全霊で投げる「ザトペック投法」で知られる伝説のエース。巨人・長嶋茂雄の終生のライバル。「打倒巨人」の象徴であり、阪神ファンの魂を最も熱くさせた男。

吉田義男(よしだ よしお) 阪神タイガースの名遊撃手として「牛若丸」と称された守備の名手。引退後は監督として、1985年に球団初の日本一を達成し、背番号23は永久欠番となっている。

やっぱ、阪神タイガース、大好きやねん！

このグッズは、星野監督で優勝した2003年の時のもの。大事に置いてるねん。

中島 (談)



■「推し活」とは、好きな人物やチーム、作品などを応援し、その魅力を楽しむ活動のこと。若い世代の文化として語られがちですが、実際には年齢を問わず誰もが取り組める『心の栄養』のような存在です。応援する対象があることで、日々に張り合いが生まれ、新しい情報や文化に触れるきっかけにもなります。

阪神タイガースを熱く応援する今回のインタビューの方のように、シニア世代の「推し活」は、人生経験を重ねたからこそ生まれる深い愛情と楽しみ方があります。『推し』の存在が生活に活力を与え、外出や交流の機会を増やし、心の健康にも良い影響をもたらします。

続いて紹介するお二人は、まさにその魅力を体現するように、それぞれの『推し』を通じて日々を豊かにしています。

オペラが、私の人生に新しい扉を開いてくれた



2025年度 エンターティメントを楽しく学ぶ科 八幡 鏡子さん

今年も、兵庫県立芸術文化センターで 佐渡裕さんプロデュースのオペラのチケット販売が始まりました。今年は「カルメン」。このお知らせを見ると、毎年のことながら胸がそわそわします。思い返せば、私がオペラに惹かれはじめたのは、佐渡さんの「蝶々夫人」を観たときでした。日本人の蝶々さんが主人公で、初心者者の私にも入りやすく、「ある晴れた日に」の aria は教科書にも載っていた曲。あの舞台をきっかけに、毎年『佐渡オペラ』に足を運ぶようになりました。

2015年からは、メットライブビューイングにも通うようになりました。プログラムにはあらずじや見どころが丁寧に書かれていて、観る前の心の準備にもなり、ますますオペラの世界に引き込まれていきました。

観ているうちに、「自分でも歌ってみたい」という気持ちがむくむくと湧いてきました。思い切ってベルカント唱法を習い始め、最初は発声ばかりの地道な練習。それでも続けているうちに、イタリア歌曲、日本歌曲へと進み、最近では短いオペラ



の aria を歌う機会もできました。衣装を身につけて舞台に立つと、あの頃客席から憧れていた世界に、自分も少し仲間入りできたようで、胸が高鳴ります。

現役時代はオペラとは無縁でしたが、気づけば『好き』が私をここまで連れてきてくれました。いまは、次にどんな曲を歌おうかと考える時間が、何よりの楽しみになっています。

日々の楽しみに、落語がふたたび



2026年度 未来へ・宇宙とAIをやさしく学ぶ科
稗田智さん

落語に興味を持ちだしたのは高校生の頃。深夜ラジオからふと流れてきた噺に耳を奪われ、言葉だけで情景が立ち上がる不思議さと、語りのリズムの心地よさに魅かれたのが始まりでした。翌日には番組の続きを楽しみにしていました。そして、時には寄席にも足を運ぶようになりました。とりわけ桂米朝さんの噺に出会ったときは、その語りに引き込まれ、テープを買い、本を読み、登場人物の息づかいまで感じ取ろうと夢中になりました。ただその頃は、自分が語り手になるなど想像もしていませんでした。



社会人になると、仕事に追われる日々が続く、落語をゆっくり楽しむ時間は次第に遠のいていきました。それでも、ふとした瞬間に耳にしたフレーズや、昔聴いた噺の一場面がよみがえり、心のどこかに落語がずっと居続けていることを感じていました。

退職を機に、「これからは自分のしたいことを存分にやろう」と決めました。

合唱や演劇、映画鑑賞、旅行など、若い頃にできなかったことを次々と楽しみ、古希を迎えたいま、ふと「まだ挑戦していないことに向き合ってみよう」と思い立ち、落語への思いが再び動き出しました。聴くだけでなく、自分で語ってみるという新しい挑戦です。

若い頃、夢中で聴いていた自分を思い出し、人に笑いや楽しさを感じてもらえたらと願いながら稽古を始めましたが、

取り組んでみると、その難しさに驚かされます。話の世界に引き込み、人物や情景を想い浮かべてもらうことは、本当に奥が深い。声の調子、間の取り方、表情の変化——どれも一筋縄ではいきません。それでも、ひとつひとつ工夫しながら、自分のペースでのんびりと続けていく時間を楽しんでいます。

次に挑むのは4作目「阿弥陀池」。どんな仕上がりになるのか、自分でもまだ分かりません。でも、その『分からなさ』こそが楽しみでもあります。

何かに夢中になると、人はちよつと元気になります。特別な準備をしなくても、心が動く瞬間って、案外すぐそばにあるものです。三人のお話を聞いていると、その『好き』のかたちはそれぞれ違うのに、どれも日々の暮らしにいい感じの張りを与えてくれているように思いました。

年齢に関係なく、そんな『ちよつとした楽しみ』がひとつあるだけで、毎日の景色は大きく変わるのかもしれない。



アンチエイジングパワーボイス科は、イキイキボイス科で声の老化を防ぐ発声の基礎を学んだ経験者の皆様が、さらなる高みを目指すための講座です。喉のトレーニングが中心のイキイキボイス科とはひと味違い、当科はヨガマットを使い、「丹田腹筋発声法」で声に力強いパワーが出てくるようになります。

また、講座の最初と最後に全身撮影をしますが、4月の測定時と比べてみると、受講後の2月にはほぼ全員の姿勢が見違えるほど良くなっており、皆様確かな効果を実感しておられます。これこそが、ヨガマットで体幹をしつかり鍛えるアンチエイジングパワーボイス科ならではの特徴ではないでしょうか。

マットの上で、丹田、背中、骨盤底などを一つずつ声と繋げていき、身体を100パーセント使い



ヨガマットで身体を整え、丹田腹筋発声法で「本当の声」を

切っていくと、自分でも驚くような「今までに出たことのない本当の声」が内側から響き渡ることを感じられるでしょう。シニア世代だからこそ、声も身体もここまです変わる。その感動をぜひ講座で肌で感じてください。誤嚥の予防や若々しい立ち居振る舞いを手に入れ、仲間と一緒に一生涯の元気をきつと手に入れられることと思います。

寿命や老化って一体なんでしょう？

多くの動物は、生殖を終えると寿命が尽きます。チンパンジーやパンダでも死ぬ直前まで生殖が可能です。ところが、人間だけは生殖年齢を超えて長い寿命を持つ特殊な生物種なのです。

* 寿命は老化の果てに来る。老化の原因には2説ある。①プロゲラム説と、②すり切れ（錆つき）説とか。

老化は有性生殖をする生物の宿命!?なんと世の中には老化をしない生物も存在する!!

* 医療と健康の基本的な学びを基盤に高齢者がよりイキイキと楽しく意欲的に日々を過ごすための講座です。姿勢改善と正しい歩き方を学びます。右手と左手の指を『恋人♥つなぎ』してトレーニング!?



授業風景

指ヨガ、眼ヨガ、笑いヨガ、エクササイズでセルフケアです。栄養学・宝塚式ボイトレ・ストレスコーピング、まだまだ一杯、ワクワクキョクンな講義内容がてんこ盛りです。



木津川カヌー

高齢者よ、書を捨て、フィールドに出よう！
カヌーで川のご真ん中を一人で下ってみたい。仲間達と山登りで、その達成感と爽快感を共有したい。ヨットで風と波切音に包まれ帆走したい等々。

したくても出来なかった憧れのアクティビティに挑戦したい。高齢者だからとあきらめたくない。そんな想いを持ったアクティブシニアがたくさんいるのではないか、その受け皿として、アウトドア科から派生したアスリートコースが設立されました。カリキュラムを刷新しながら今年で5年目を迎え、山・川・海・湖・空の多彩なフィールドで活動が続けています。実習指導の中心はPENSの砂山講師で、それ以外も経験豊富なインストラクターのもと、安全最優先で活動しています。
また全体の実習を問題なくこなすため、受講希望者には1日28000歩を歩ける脚力を求めています。少しハードルが高いかもしれませんが、毎年元氣な受講生が来られ、活氣があり結束力の高いクラスになっています。

健康づくり運動・スポーツ科

コーディネートの活動方針の一つに『健康づくり』があります。それをそのまま表しているのが私たちの「科」つまりコーディネートの看板を背負っているのです。
「だから何？」というツツコミは無し。では私たちの科を紹介します。無理やり勝手にジャンル分けしました。
【二足歩行系】音楽に合わせスロージョギングは楽しそう。皆さんで屋外へ。正しい姿勢でカッコよく歩く人を目指そう
【立脚横臥系】筋トレ・ストレッチ。無理せずにとは言いながらも無理してそんな人もチラホラ
【協力・競争系】ゲームを交えたり、ニュースポーツに挑戦したり。ここではみんながなぜ明日を考えず頑張る。
さああなたはどの系にはまりそうですか？



校外活動風景

活動場所はヤンマースタジアム！（の中の目立たない二画）。長居公園の中ですから周囲は運動にもってこいの場所。「ここに來るだけで健康寿命が伸びた氣がする」なんて声もあり。
まずは皆さんで楽しく動いて、喋って、笑って、そのあとは…。

無理なく、楽しく、自分らしく。そんな健康づくりを、これから一緒に積み重ねていきましょう。



第9回 合同美術展 入賞作品

今年も大阪南港ATCにおいて美術系講座を受講する皆さんの合同美術展が開催されました。入賞作品をご紹介します。

副理事長賞

作品名「召し上がり」

油彩画応用科 松下 勝一



昨年、サロン・ドトーヌに初応募したら運良く入選、パリに行くことに。在住の孫にも会え、「次回は孫娘」をモチーフに描くと約束、それが今回の作品です。長女も孫にも大変喜んで貰え、今後の励みになりました。

副理事長賞

作品名「Forest whispers」

ステップアップ！水彩画科
久保田 幸子



雨上がりの上高地で出会った色鮮やかなキノコと苔が囁きあっているように感じて...これを絵にしました。背景の描写に迷い、先生や先輩方からの助言により描くことができました。

理事長賞

作品名「立葵」

水彩いろいろ科 増田 啓子



今年度から始まった日本画制作授業は、何もかもが初めて知ることばかり。手順も多く、戸惑い四苦八苦しましたが、日本画の絵具や和紙などの素材の美や自然と人の心をつなぐ魅力に引き込まれ、夢中で描きました。もっと研鑽に努めていきたいです。

副理事長賞

作品名「マリリンモンロウ」

似顔絵まんが科 和田津 五務



マリリンモンロウを選んだ時、赤い靴を思い出しました。10年前に作りました。陽の目を見る事ができました。額は拾いました。色画用紙と包装紙は貰いました。ネジと糸は買いました。自画像の印が良かったのか？
(川柳：似顔絵は1に勇氣、2に度胸)

副理事長賞

作品名「ウルトラ回転ジャンプ」

写真表現科 浜口 道世



「神奈川県湘南海岸で行われていた全日本レベルの水上バイクの大会で様々なパフォーマンスを行っていたのを海岸から撮影したものです。望遠レンズを使用し連写で何枚か撮った写真のうちの1枚です。

副理事長賞

作品名「さくら」

水彩いろいろ科 梶田 知加子

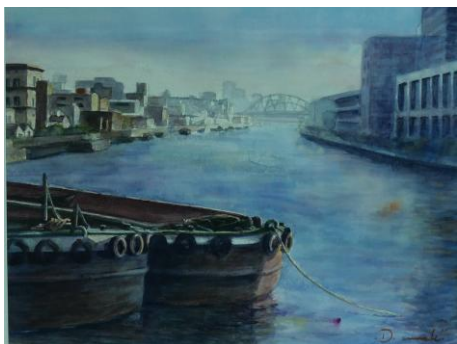


日本画は手順が多く胡粉の使い方が難しかったですが、好きな桜を描けて嬉しかったです。大豊先生や第5グループに引っ張ってもらいここまでできました。まさにBeginner's luckです。

カワ千賞

作品名「安治川水塞」

ステップアップ！水彩画科 梅木 大輔



「水都・大阪にふさわしい」と長年感じていた湾岸エリアの風景を作品にしてみました。数年ぶりにお気に入りの現地を訪れ、目に刻み込んだ光と影、遠近感、を意識しながら制作しました。

カワ千賞

作品名「緑の記憶」

デッサンから学ぶ油彩画科 大塚 君代



滝に向かう途中、緑の山肌に心惹かれ、画面に小動物も描き込んでみました。搬入前に増える迷いが今回はなく、「ここが描きたい！」で自分の好奇心のまま進むことが出来ました。

ホルベイン賞

作品名：「中之島薔薇園」

デザインから学ぶ油彩画科 嶋谷 武宏



今回の油彩画に賞を頂きましたこと驚いております。間違いでないですか！先生の評価では額縁が大変良いとの事、絵に対しての評価は特になかった。空の色がきれいだと言われた事と私の思いとは違っていたのでびっくりです。

ホルベイン賞

作品名「奥入瀬の秋」

油彩画応用科 土居 光子



奥入瀬溪流は、私の好きな所で水彩、油彩と何度か描きました。描く場所や季節によって雰囲気は全く異なりいろんな表情を見せてくれるのが好きです。私にとって絵は自己表現の場でありずっと描き続けていきたいと思えます。

れいんぼ一賞

作品名「食べるの大好き！！長生きするで～」

絵の基礎を楽しく学ぶ美術科 青山 典子



今年は94歳になるお義母さんを描きました。「食べるのがたのしみ～」というのが口癖。昔、自分の店があった新町北公園でのお花見の様子、毎年楽しみにしています。顔の表情は気持ちを込めて丁寧に描きました。

大阪画材賞

作品名「春に駆ける」

絵の基礎を楽しく学ぶ科 竹田 芳之



陽光注ぐ春の野原を仲良く駆ける孫兄弟の姿を残したいと思い取り組みました。約50年振りに絵を再開しましたが楽しみながら長く続けたいと思っています。

大阪府民カレッジ理事長賞

作品名「はじめてのおさんぽ」

写真表現科 前山 義孝



奈良の馬見丘陵公園で満開の桜とチューリップのコラボ撮影を狙っていた時にファインダーの右端に突然よちよち歩きの女の子が姿を現しました。咄嗟に右に少しアングルを寄せて撮りました。ほんの数秒間の一期一会の作品です。

大阪画材賞

作品名「水の都ブルージュ(ベルギー)」

水彩いろいろ科 辻本 節子



初めて水彩いろいろ科に入学し、周囲の方々の上手さに驚くと共に深く感銘を受け、私も早く上手になりたい！と強く思いました。そんな私が賞を頂けるなんて…!?これを機に更に上達できるよう精進したいと思います。

特別賞

作品名「11月のある日」

ステップアップ水彩画科
眞柴 政美



穏やかで柔らかな雰囲気になるよう心掛けました。自分の中の感覚と選んでくださった方の心に響いた感覚の共有ができたこと、とても嬉しく思います。

大阪区民カレッジ理事長賞

作品名「みやぞん …何時でも一生懸命」

似顔絵まんが科 山川 末子



いつも、丁寧に教えてくださるラッキー先生のご指導のおかげです。「みやぞん」さんの明るい雰囲気が少しでも表現できて良かったです。人を笑顔にする絵の奥深さを知ることができました。

会場スナッブ



2017年に大阪南港ATCでの開催が始まって以来、第9回を迎えた合同美術展。

ゆったりと歩きながら作品に向き合える心地よい会場には、今年も思い思いの力作が並びました。

初級クラスとは思えないほど丁寧に描き込まれた表現に思わず見入ったり、油絵ならではの深みのある色合いに感心したり——作品に寄り添うたびに、つくり手の想いや温度がそっと伝わってくるようでした。

静かな空気の中で一つひとつの作品と向き合う時間は、日常の喧騒をふっと忘れさせてくれるような、穏やかで豊かな“美術さんぽ”へと導いてくれました。



合同音楽会



今年で9回目を迎えた合同美術展。今年南港サンセットホールを舞台に、音楽科有志によるパフォーマンスが会場に華やかな彩りを添えました。海を望むスタイリッシュな空間に響き渡る伸びやかなハーモニーが、来場者の心を惹きつけるひとときとなりました。

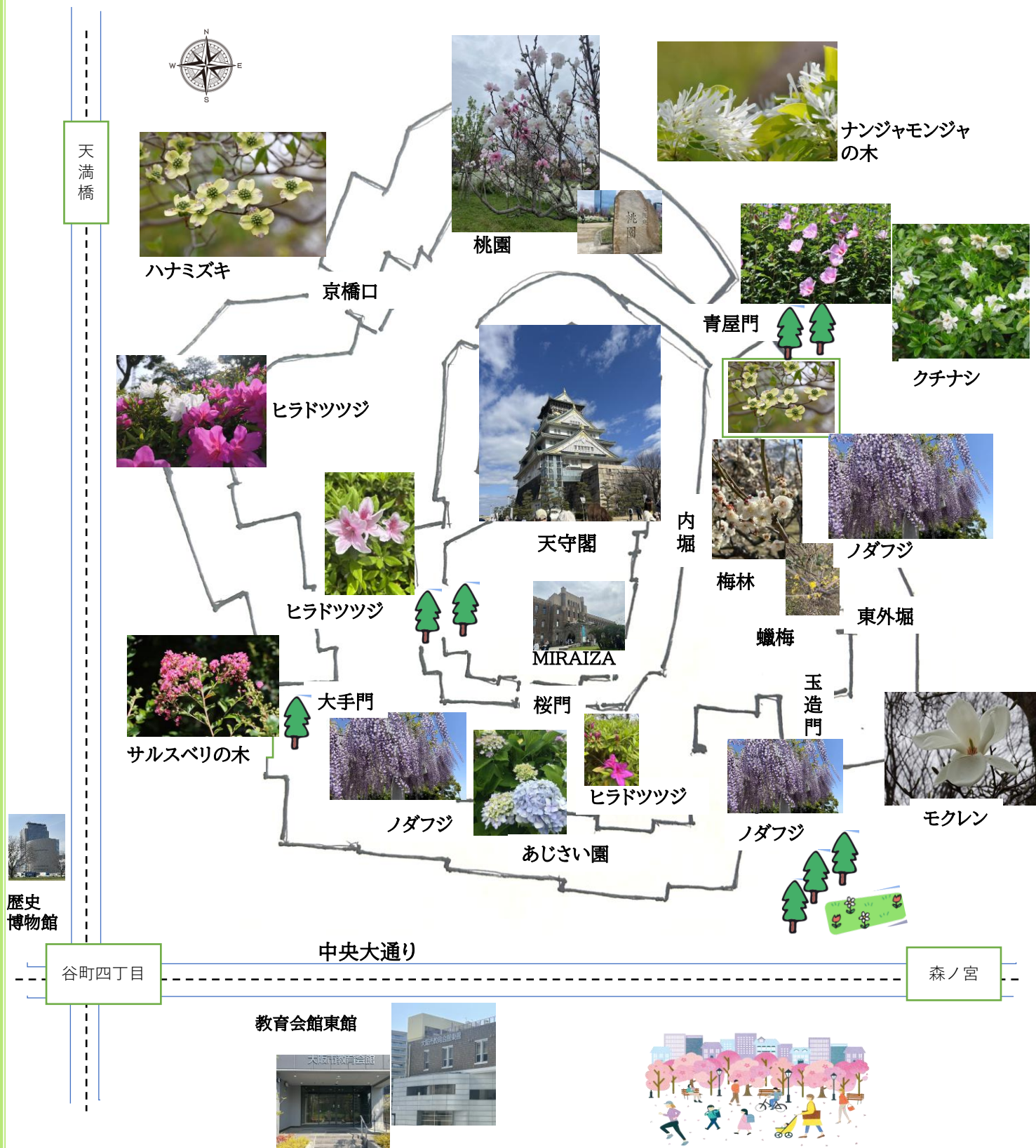




れいんぼー突撃取材班

大阪城公園がいちばん美しい瞬間を探しに。

春の大阪城公園を歩いていると、「ああ、いいな」と思う景色がいくつもあります。その場で感じたきれいさを残したくて、取材班が歩きながら撮りためた写真を織り交ぜながらMAPでご紹介します。この季節だけの表情を、ぜひ実際に散歩しながら見つけてみてください。春から夏にかけて楽しめる樹木です。



コーダイ同好会・クラブ紹介

ファインダーの先に広がる“自分だけの世界”を楽しむ仲間たち ★写真クラブ「写楽」★



コーダイには、現受講生と修了生(OB)が一緒になって活動する、魅力あれるクラブが多数あります。趣味を通して仲間づくりや社会参加につながる場として、多くの方が楽しんでいます。

「どんなクラブがあるのかな？」と興味を持たれている方に向けて、今回は コーダイ写真クラブ「写楽会」をご紹介します。

季節の風景や街の表情、人の営み——ファインダーをのぞくたびに広がる世界を、仲間とともに味わえる人気クラブです。

「撮影スキルは問いません。大切なのは“楽しむ心”です」

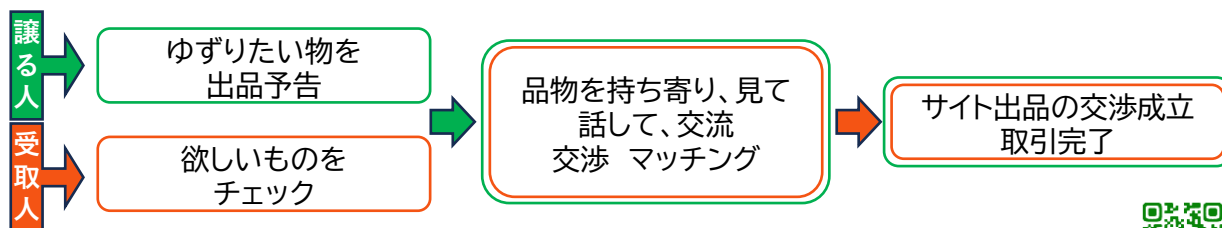
コーダイ生とOBが、ファインダー越しに広がる世界の魅力を楽しむ写真サークルです。月に一度の撮影会をはじめ、コーダイフェスタや年2回の展示会で、作品を通して自分たちの感性を表現しています。撮影スキルに関わらず、誰もが気軽に楽しめる場です。

写真が好きな方、カメラに触れてみたい方、仲間と何かを楽しみたい方、ぜひ一緒に活動しましょう。(コメント 代表 辻尾伸賢さん)



コーダイゆずりば ~モノと想いをつなぐ2日間

サイト上での交渉だけでなく、実際に商品を見て選べるコーダイゆずりばフェアを7月にコーダイ会議室にて開催します(予定)。ゆずりばサイトに登録されている方、ぜひご参加下さい。



詳しくは“受講生サイト”をご覧ください！



編集後記

新学期のスタートに合わせ、今月号は新しい季節の空気を感じていただける内容を意識して編集しました。理事長の挨拶には、これから学びを始める皆さんへの温かいエールが込められています。入学式に参加した受講生の声からは、期待や緊張、そして前向きな決意が伝わり、背筋が伸びる思いでした。

特集では3人の受講生に「推し活」について語っていただき、その熱量に元気をもらえるページになっています。

読者ページ「フレンドリーパーク」では、読者投稿を募集しています。今回のテーマは「私の健康法」。※200字程度にまとめてご応募ください。

採用させていただいた方には商品券(1,000円)を差し上げます。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。(T) kouho@osaka-koudai.com

◆事業グループからのお知らせ◆

2026年度のご寄附のお願い

コーダイでは、世代を超えた交流の場である「子ども教室」や「救命救急講習会」「特殊詐欺防止講習会」など地域や社会に広がるさまざまな活動に取り組んでいます。

これらの活動は、皆様からの温かいご寄附により支えられ、大きな力となっています。本趣旨にご賛同いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

大阪府高齢者大学校ホームページ
<https://osaka-koudai.or.jp/>

一編集部より
これらの活動を「ちょっと応援してみたいな」と思っ
てくださる方へ

詳しくはホームページで
ご覧いただけます。

地域のみなさまが安心してくらせるまちづくりのために いずみ市民生協が4つの施設を貸出しします

貸出し スペース ご紹介

孤立を防ぎ、住民同士が「支え合い・見守る」関係を育むことで、自己肯定感の向上や地域防犯、緊急時の協力体制の強化、孤独感の解消に寄与する重要な居場所。そんな活動のきっかけづくりに活用してみませんか。

堺市

住所/堺市堺区南花田口町2-2-15 堺東本部1階 /アクセス:南海高野線「堺東駅」徒歩3分

貸出時間:基本平日
月～金/9:00～17:00
(土日祝は要相談)
休館日:お盆、年末年始

とまとちゃんホール

収容人数:45人

おにょん'sキッチン

収容人数:18人

とまとちゃんホール
おにょん'sキッチン使用事例

- 講座・セミナー
- 子どもの居場所・学習支援
- キッチンを活用した体験企画



とまとちゃんホール



<施設備品>

- ・机
- ・椅子
- ・長机4台
- ・黒板
- ・マイクセット
- ・モニター(HDMI接続)
- ・スクリーン
- ・Wi-Fi
- ・ホワイトボード



おにょん'sキッチン



<施設備品>

- ・テーブル(6人掛け)3台・長椅子
- ・システムキッチン(IH)
- ・冷蔵庫
- ・トースター・電気ポット
- ・炊飯器・調理備品
- ・食器
- ・モニター
- ・Wi-Fi
- ・ホワイトボード(小)

高石市

高石市高師浜2-14-11

まちのリビング たかしのほま



アクセス: 南海高師浜線
「高師浜」駅下車 徒歩5分
貸出時間: 基本平日/月～金
9:00～17:00(土日祝は要相談)
休館日: お盆、年末年始
広さ(収容人数): 58人

<施設備品>

机、椅子、長机4台、黒板、システムキッチン(IH)、冷蔵庫、電子レンジ、トースター、電気ポット、炊飯器、Wi-Fi

大阪狭山市

大阪狭山市狭山1-2350サンライトビル1階

まちのリビング おおさかさやま



アクセス: 南海高野線
「大阪狭山市」駅下車 徒歩3分
貸出時間: 基本平日/月～金
9:00～17:00(土日祝は要相談)
休館日: お盆、年末年始
広さ(収容人数): 40人

<施設備品>

机、椅子、黒板、ホワイトボード、Wi-Fi、システムキッチン(IH)、電子レンジ、冷蔵庫、電気ポット、プロジェクター

八尾市

八尾市桜ヶ丘2丁目

まちのリビング やお



アクセス: 近鉄大阪線
「近鉄八尾」駅下車 徒歩5分

2026年11月
完成予定

お問い合わせ

各施設のご利用に関する詳細は、下記までお問い合わせください。



くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合

地域活動推進部
地域活動グループ

072-232-5029

平日10:00-16:00

